

53人が確約書提出

水俣病患
者互助会 山本会長らあす上京

水俣病補償交渉方式をめぐって意見が対立している水俣病患者家庭互助会（山本亦由会長）の確約書提出組は七日、これまでまとま

った五十三人分の確約書を厚生省に提出することを決めた。

山本会長らは六日から確約書提出を説得して回り、七日までに会員九十人のうち半数以上の五十三人から確約書を取った。厚生省も半数以上を越えた場合は確約書提出を受け付ける意向だと水俣市当局では言っている。

五日の互助会総会では確約書を提出する組と自主交渉組とで意見が対立し、ついに結論は得られなまま散会した。このため互助会執行部は「これ以上話し合っても

話は煮詰まらない」と判断し、その後個人的に確約書提出の意向のある会員から確約書に印鑑をもらって歩いた。

確約書提出に当たって①私たちはこれだけ全国の注目を集めた問題だから、厚生省は公正妥当な結論を出してくれるものと信じている。信頼して問題解決をお願いする方針を決めた②このさい事実無根のデマ宣伝をしている向きがあるのは遺憾である、これ以上地域や世間に迷惑をかけてはならないと思う③現在私たちの考え方に同

調する会員はすでに六割以上に達し、現在迷っている十数人がいるが、この人たちも近く同調してくれるものと思う。また反対している人もいずれ歩調を合わせてくれ

ることを強く希望している―ことを内容とする声明を発表した。この確約書を持って山本会長ら代表九人は、山田水俣市衛生課長らと一緒に九日上京し厚生省に提出する。

▽山本会長の話 会として提出するのではなく、個人の意思で国の第三者機関に任せるという人だけの分を取りまとめただけで、今後確約書を出しようとする人があればいつでも応じます。